

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス宜野湾教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 13日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 13日	～	令和8年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1人1人の療育に対する目標設定と振り返りに広く職員が参画しており、会議も充実して行っている。	常勤のみならず、非常勤職員にも共有できるように会議に対してのご意見等を伺い、計画を作成している。又、療育を行いなから気になる事などを常に話が出来る体制で行っている。	今後も継続して、療育に取り組めるよう話し合いを重ねるが、職員全ての意見を拾う事が出来るよう必要なツールを都度考えていく。
2	地域支援や移行支援が行えるよう、地域に出て事業所の児童だけでなく他者との交流が行えるような療育に取り組んでいる。	全体活動や集団遊びで地域の児童を誘ったり、一緒に遊ぶ事が出来るよう、児童センターや公園、別の事業所などへ出向いているような関わりが持てるようにしている。	会社が大きいこともあり、他事業所に足を運び関わりを行う体制づくりに取り組んでいる。
3	事業所の内部研修はもちろん、外部の研修にも積極的に参加し、わからないところや療育に必要な知識を吸収できるように取り組みを行っている。	毎月、運動遊びや必要な研修を内部研修で最低でも月2回は行い、それ以外にも外部研修で必要な取り組みや必要な資格が取れる体制を作っている。	職員の資質向上を目指し、日々の研修により資格がある人から事業所での取り組みについて話をしてもらおう機会や、リーダーとしての取り組みを行ってもらっている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日々、必要な研修や訓練、情報を保護者へお伝えしているが、周知できていない事。	毎週、ホームページでの日々の活動の公表やおたよりでの連絡などを行っているが、情報が確実に伝わっていない事として、もっと、保護者様へお伝えする機会を直接設ける必要があると感じる。	今後も、継続して情報公開やLINEやおたより等でお伝えは行っていくが、それ以上に、保護者様へ直接お顔が見える支援と情報公開の為のお話などを行っていく。
2	事業所内で家族様に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）を全体に向け行ってはいいない。しかしながら、都度、保護者様へはお子様の様子や支援についてお話ししながら必要な療育をお伝えしている。	外部のプログラムなど保護者様として必要と感じられるプログラムに関しては、LINEやお便りにてお伝えしているが、事業所内で行っているプログラムがあるわけではなく、全体には会を設けていない。	必要と感じられる保護者様の希望に添えるよう日々の会話の中からどう感じているかなどをお伺いを立て、今後に生かしていきたい。
3	避難訓練や、研修、プログラムの計画や細かい安全計画などについて報告、ご理解などを都度行っているわけではない事。	年度初めではなく、年度途中で入ってくる児童や保護者様に対して、細かくプログラム計画や安全計画についてお話しする機会を設けていなかったことが課題。今後検討していく必要がある。	改善に向けて、日々の報告を都度行っていく事を事業所全体で考えていく。